



埼玉東支部広報誌
News Letter

平成 28 年
9 月号
NO.16

輝

～ KAGAYAKI ～

特集『こんなまちに住みたい～流山編～』

『松原団地』から『獨協大学前』へ

『地下鉄 8 号線の建設・誘致活動』について

『さらに充実する交通アクセス』三郷市



SAITAMA HIGASHI

こんな『まち』に住みたい。～流山市～



例年、4月になると『住みたい街ランキング』が住宅情報誌やインターネット上で話題になる。今年も（リクルート住まいカンパニー）が『住みたい街ランキング2016関東版』を発表した。近年、常に1位を獲得してきた吉祥寺が恵比寿にその座を引渡したのが話題になっている。4路線が乗り入れる駅の使い勝手の良さに加え、洗練された街並みの印象や都心の利便性、さらには資産価値やステータスといった観点からも、もともと好感度抜群の街（駅）だったが、西口には2016年4月に「アトレ恵比寿西館」が新オープン予定で、さらに期待値が高まっている。

残念ながら埼玉東支部域内ではランキング上位に入った街（駅）はない。しかしながら、注目すべき街（駅）がある。それは北千住（足立区）と流山おおたかの森（流山市）だ。どちらもつくばエクスプレス（TX）の通る街（駅）であり、言わばお隣さんだ。この二つの駅の間には八潮、三郷中央が位置している。北千住（足立区）とおたかの森（流山市）はそれぞれ異なる街づくりをしている。しかし、結果として『みんなが住みたい街』に成長している。どうしてこの二つの街（駅）が人気があるのか？何が八潮（八潮市）、三郷中央（三郷市）と違うのか？この二つの街（駅）をよく調査・研究することが八潮（八潮市）、三郷中央（三郷市）の今後の街づくりに参考になるのではなかろうか。街づくりのプロフェッショナルである私たち不動産業者は消費者のニーズに敏感でなくてはならない。マンネリ化しがちな行政任せの街づくりに警鐘を鳴らし、新たな切り口の目地づくりを提案すべきではなかろうか。

今号では調査・研究の第1弾として、おおたかの森（流山市）を取り上げることとした。流山市は千葉県北西部に位置し、江戸川や利根運河が流れる水辺の街として知られる。都心からも近距離ということもあって、かねてよりベットタウンとして宅地開発が盛んに行われていた。そんな流山市にあって、近年人気急上昇しているのが「流山おおたかの森駅」周辺の地域だ。健全な自然がある場所のみに生息するという「オオタカ」が住む森があることから命名された「流山おおたかの森」。最近では大型商業施設を始めマンションや住宅も増えている。

千葉県居住者が選ぶ『住みたい街ランキング2015関東版』（リクルート住まいカンパニー）では一昨年の17位から7位に大幅アップ、隣接する茨城県居住者が選ぶランキングでも一昨年の31位から10位に大幅アップしている。さらに「今後、地価が値上がりしそうな街ランキング」でも15位にランキングするなど、まさに赤丸急上昇の街なのだ。その人気を支えるものは何なのか？その魅力に迫ってみよう！



「母になるなら、流山市。」 「父になるなら、流山市。」

皆さんはこんなキャッチコピーを聞いたことはありませんか？千葉県北西部に位置している流山市は大きな企業も施設もなく、住民の高齢化が進んでいた。以前はJR常磐線馬橋駅に始まる流鉄流山線と大宮と船橋を結ぶ東武野田線（アーバンパークライン）が都心に向かうための交通手段だったが、つくばエクスプレスが開業したことにより状況が一変した。現在の人口は17万8534人で10年前に比べて約2万5000人増加している。都心から1時間以上かかった通勤時間も25分から30分に短縮され、都心に通う多くの若い世代が安住の場として移住してきている。流山市には「マーケティング課」という組織があり、首都圏に住む共働き子育て世代にターゲットを絞り、定住人口を増加させる戦略を作っている。「母になるなら、流山市。」



「父になるなら、流山市。」これは子育てしやすい街をアピールし、首都圏での流山市の認知度向上を目指したイメージ広告であり、戦略の一端である。このキャッチコピーを載せたポスターが都内主要駅に掲示され一躍脚光を浴びたのは有名な話である。日本には1718の市町村があるがおそらくマーケティング視点でプロモーションを始めたのは、流山市が初かもしれない。この稀有な戦略を実践した流山市の井崎義治市長の考えを聞くべく、その実戦部隊、総合政策部マーケティング課メディアプロモーション広報官 河尻和佳子氏に話を聞いてみた。

Q1. 流山市が取り入れている『マーケティング』とはどんな施策ですか？

現在、全国の自治体が共通の課題としているのが人口減少・長寿社会・厳しい経済状況です。この課題を解決するために各都市間に競争が生まれています。厳しさを増す自治体経営の中で発展し続ける仕組みづくりが不可欠です。都市（街）の魅力を伝え、選んでいただける街にすることは重要です。流山市も他の自治体と同様で、井崎義治市長が就任した時、人口の伸びが鈍化し、高齢化率が上昇していました。日本全体が高齢化する中で、流山市も高齢化が進むと考えられました。少子高齢化社会で、どうやって市民サービスを維持していくか、市政にもマーケティングの視点が必要だと考えました。

マーケティングとは売れる仕組みを作る事で自分たちの強みを知り（SWOT分析）、対象を決め（対象を絞る）、そして手段を考える（プロモーション）だと考えました。

流山市は平成17年につくばエクスプレスが開業し、都心まで30分で通勤できる環境になりました。この利便性と森や公園の多い住環境が、流山市の特徴（強み）と考えています。「都心から一番近い森のまち」という都市イメージを掲げ、共働き子育て世代「DEWKS」(Double employed with kids) をターゲットに絞りました。



Q2. 何故子育て世代にターゲットを絞られたのですか？



流山市は元々大きな企業や工業団地はありません。市の歳入は住民税の占める割合が大きいです。

そのため、一定の若い世代の人口ボリュームが必要です。

勤務先が都心であっても通勤に便利で、しかも子育てがしやすい住環境があることで「首都圏に住む共働き子育て世代」に魅力的にうつるのではないかと考えました。

「都心から一番近い森のまち」というイメージを訴求していくことが重要であり、「首都圏に住む共働き子育て世代」にターゲットを決めていろいろな施策を展開していくことが自治体としての特徴であり差別化につながります。

Q3. 子育て世代が満足するような具体的な施策はありますか？

先程も申し上げたように「DEWKS」にターゲットを絞っていますので、共働きがしやすい街としての環境整備が必要です。その為に駅前送迎保育ステーションを「流山おおたかの森駅」と「南流山駅」に作りました。これは各送迎保育ステーションと市内の保育所（園）を安心・安全のバスで結び、登園・降園するシステムです。また子育てをしているお父さん・お母さんとその子どもが楽しめる魅力あるイベントを切れ目なく行っています。特に8月に行われる「森のナイトカフェ」では平日の4日間で5万人の方が楽しみました。子連れで楽しめる「おソト飲み」というコンセプトでしたが、お子様連れでママ会がおこなわれていたり、会社帰りのお父さんたちが楽しんでいたりしていました。

つくばエクスプレスが開業して10年が経ちました。その頃に産まれたお子さんも10歳になるわけです。その為に小中学校の教育環境の整備を急いでいます。特に英語教育に力を入れています。市内の小中学校に外国語指導助手や英語活動指導員を配置しています。

Q4. 「母になるなら、流山市。」というキャッチコピーはどのようにして生まれましたか？

「母になるなら、流山市。」…このキャッチコピーをつくるのは苦労しました。流山市がアピールしたい「共働き子育て世代」に共感されるキャッチコピーが必要でした。

駅の広告ですから短い言葉であっても素通りされずに足をとめてもらわないといけません。広告代理店とも何度も何度も話しました。

そして、50以上の候補の中から、「母になるなら、流山市。」「父になるなら、流山市。」というキャッチコピーができました。

このキャッチコピーを載せたポスターを都心のターミナル駅を中心に貼り出しました。

行政としてはおそらく初めて（イベント以外で）広告宣伝をしたわけです。

反響は大きかったですね。雑誌等のメディアでも取り上げられ当初の目的は達成できたと感じました。



Q5. 不動産業者との連携はありますか？

大手デベロッパーを中心に沿線開発が現在も行われています。

マンションや戸建には住んでもらうためにマンションや戸建には住んでもらうために様々な販促を行います。定住人口の増加を目標とする私たちと方向性が近いことがあります。

そこで、イベントに協賛していただいたり等、連携することがあります。

Q6. 草加市・八潮市・三郷市についてどんなイメージをお持ちですか？

草加市は古くから宿場町として発展してきた歴史のある街というイメージがあります。歴史があるだけに風土とか気質を変えるには難しい面もあるかもしれませんね。八潮市・三郷市は流山市に似て、新しい、これからの街というイメージがあります。それぞれの街にはいろいろな特徴や課題がありますが、どういった街づくりを目指すかを明確にすることが大切かもしれません。

Q7. 草加市・八潮市・三郷市にアドバイスするとしたら？



先程も申し上げましたが、それぞれの街にはいろいろな特徴や課題がありますがその課題を踏まえて、「誰」に対して「何を」やっていくのかを考えることが大切かもしれません。

発展し続ける街の仕組みづくりは、人口増加だけが手段ではないと思います。

企業誘致や観光による交流人口増加等その街の特徴や強みを把握したうえで、オンリーワンの取組をしていけばいいのではないのでしょうか。

【まとめ】『マーケティング』を取り入れた街づくりを提案しよう！



協力：流山市役所 総合政策部 マーケティング課
メディアプロモーション広報官 河尻 和佳子様
取材：小川 勝、宗像 健慈、吉田 良一

流山市は全国的に見ても珍しいマーケティングに基づいたシティセールスにいち早く取り組んで成功をおさめている。近隣自治体では春日部市が積極的にシティセールスをし、知名度アップ・イメージの向上に努力している。全国的にみると宇都宮市・松山市・横須賀市・東広島市・高槻市などがシティセールスに積極的だ。どの街も都市間競争に負けないように努力している。行政マンや商工会議所等の団体だけのアイデアではなく生きた市民のニーズを取り込んだ街づくりが必要ではないでしょうか？ 既存概念やしがらみにとらわれた発想の街づくりでは都市間競争に勝ち目がないようです。これからの時代を背負っていく若い世代に支持される街づくりが必要です。私たちは街づくりのプロフェッショナルでなければなりません。いつまでも市民に愛される街づくりを提案していくことは不動産業者としての責任でもあります。素晴らしい先例は大いに参考にして、私たちの街づくりに取り入れていかなければなりません。マーケティングを取り入れた街づくりを行政に提案していきましょう。



埼玉東支部委員会報告

総務財務兼広報啓発委員会

委員長 小川 勝

会員の皆様には、協会並びに支部の活動にご理解を頂き誠にありがとうございます。当委員会は昨年同様、大変多くの事業に携わっておりますが、今年度は特に AED 講習等の公益事業、新規会員の拡大、そして年会費期日一括納入の促進を重点課題とし活動してまいります。今年一年、支部運営がより円滑に進むよう、メンバー全員一致団結して頑張っております。何卒皆様方のご協力をご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

消費者相談兼法令遵守委員会

委員長 池永 幸生

消費者相談委員会では、今年度宅建オープンセミナーを去る9月6日午後から三郷市文化会館にて開催致しました。テーマは、昨今話題ともなっております空家についてです。内閣府の高齢社会白書によれば、今後日本の人口は減少し32年後の2048年には、1億人を割って9913万人になると予想されております。今後増え続けるであろう空家に対して、私達宅地建物取引業者はどのように対応していけば良いのかについて、少しでも役に立てればと考え企画しました。空家の利活用若しくは売却は、私達が得意とする専門分野ということもあり、当日は多くの皆様にご参加いただきありがとうございます。又、法令遵守委員会では毎年11月の1ヶ月間に限り各地区の担当者による事務所調査を実施致します。今年度対象となる会員におかれましては、事前に連絡の上事務所へお伺いしますので、ご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

政策推進委員会

委員長 森 正見

会員の皆様には、日頃より政策推進委員会の活動に対しまして、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

今年度に入りまして2回の委員会を開催し、行政・議会への意見提言の草案を作成しました。

また、7月19日には八潮市役所との意見交換会を行い、市役所から①まちの景観と空家等対策について②保留地の販売状況についての説明を受け、八潮地区参加委員より出された9項目の質問に回答を頂きました。

業務支援委員会

委員長 五十嵐 佳之

会員の皆様におかれましては、日頃より当委員会の活動に対しましてご理解とご協力を頂いております事、委員会を代表いたしまして厚く御礼を申し上げます。本年業務支援委員会では会員間の相互理解と親睦を目指し、会員様へのサービスとなるべく事業を行っております。6月15日には青年部を中心として会員交流ゴルフコンペを千代田カントリークラブで開催させて頂きました。越谷支部、埼玉支部からも多数ご参加頂き多くの交流が図れたと感じております。また、本年の会員交流旅行として10月26日(水)に東京湾サンセットクルーズを予定しております。豪華客船で東京の景色を眺めながらの食事会です。行き帰りはバスを利用する予定となっておりますのでどなた様もお気軽にご参加下さい。宜しくお願い致します。

情報提供委員会

委員長 小勝 元貴

情報提供委員会では、各地区で開催される不動産フェアにて一般の方への不動産知識等の情報提供をはじめ、パソコン講習会を開催し近年の不動産業務で必要不可欠であるパソコンの利用促進活動を行っています。先日、7月14日(木)に第1回パソコン講習会を開催させていただきました。20名を超える多くの会員様に参加いただき、Windows10へのアップグレードについて、そしてパソコンセキュリティ対策の講習会を開催しました。

10月後半より11月にかけて、各地区で不動産フェアが開催されます。無料にて粗品を配布し、不動産無料相談ブースを設け、一般の方への情報提供を行う予定です。また、現在問題になっている「空き家対策」への取り組みとして、草加・八潮・三郷の3市から情報収集を行い、行政との連携を目指し活動しております。引き続き、委員会へのご理解ご協力をよろしくお願い致します。

要確認! 宅建業免許更新、提出期間経過で

免許満了日の90日前から30日前まで
(協会経由:100日前から50日前まで)

免許失効

宅地建物取引士証(宅地建物取引主任者証)の
有効期限は大丈夫ですか?

更新のための講習会は有効期限満了の6か月前から受講が可能です。



支部新入会員紹介

株式会社 コウキ

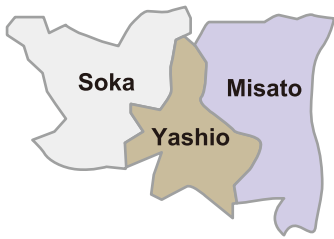
今年2月に埼玉東支部に入会致しました株式会社コウキでございます。メイン事業である建築と共に不動産売買・仲介を手掛けております。弊社の最大の強みは不動産・設計・建築のワンストップサービスです。何卒宜しくお願い申し上げます。
URL: <http://kohki-inc.com>



株式会社 五廣

この度、埼玉東支部に新たに入会させていただきました(株)五廣です。内装リフォーム業をメインにしてきた弊社ですが、この強みを生かし新たな分野として不動産売買を始めます。どうぞよろしくお願い致します。





エリア情報（草加・三郷・八潮）

各エリアの最新情報や気になる情報を担当委員がお伝えするコーナーです

『松原団地』から『獨協大学前』へ

Soka

東武鉄道は6月22日、来春から松原団地駅の駅名を「獨協大学前<草加松原>」に改称すると発表しました。1962年「マンモス団地」と呼ばれた松原団地の最寄り駅として開業。1964年、獨協大学が開学し発展してきました。しかし、近年駅周辺の環境も大きく変わり、団地も老朽化が進む中、2003年都市再生機構が団地建て替え事業を開始。それに加え2014年、「草加松原」が国の名勝に指定。このことから草加市と草加商工会議所が中心となり「松原団地駅名変更協議会」を設立、東武鉄道に「獨協大学前<草加松原>」への駅名変更を要望、そしてこの度の駅名改称となりました。犬井獨協大学学長は、「この度の駅名変更を契機に本学は、今後さらに地域文化、教育の一環として重要な役割を担い、魅力ある地域社会の発展に貢献することをお約束する」とコメントしました。さらに田中市長は、「若者が学び生活する成長性と、いにしへの雰囲気漂う街のイメージをアピールし、地域の魅力を高めたい」とコメントを出しました。

新たな駅名に変わることで、多くの若者が集い、「獨協大学前<草加松原>」をはじめ市内全域が活性化のキッカケになることを期待します。（草加地区：永堀 直樹）



松原団地駅前

「地下鉄8号線の建設・誘致活動」について

Yashio

「交通」をテーマに八潮地区からは、『地下鉄8号線の建設・誘致活動』の近況を報告させていただきます。

『地下鉄8号線の建設・誘致活動』は、平成12年度年からは、草加市、八潮市、越谷市、吉川市、松伏町、野田市を含む関係11自治体で組織する「地下鉄8号線建設促進並びに誘致期成同盟会」におきまして、運輸大臣、現国土交通大臣をはじめ、埼玉県知事、千葉県知事及び茨城県知事に対し、速やかな事業化等について、要望活動を行ってまいりました。

その結果、本年4月20日に行われた「交通政策審議会」の答申において、東京8号線の延伸として、押上ー野田間が「東京圏の都市鉄道が目指すべき姿を実現する上で意義のあるプロジェクト」として位置付けられました。この計画では、つくばエクスプレスの八潮駅を経由して、八潮市役所付近、八潮団地付近、そうか公園（柿の木）付近にそれぞれ『新駅』が建設される予定であります。

近隣住民の交通利便性は、さらに高まり、我々、埼玉東支部並びに会員にとってもビッグプロジェクトであることは、言うまでもありません。

今後も、注目度・期待度 No.1 の『地下鉄8号線の建設』の推進・実現に向けて、ご協力をよろしくお願い致します。（八潮地区：林 雄一）



そうか公園（柿の木）



八潮市役所



八潮団地

「さらに充実する交通アクセス」三郷市

Misato

東洋一といわれる、三郷JCT。

この三郷JCTを中心とした、東京外環自動車道は、大泉JCT～三郷南ICまでの間の33.7キロが2005年までに開通しています。未開通区間のうち、三郷南ICから京葉道路と交わる京葉JCTを経て、東関東自動車道と交わる高谷JCT（仮称）までは15.5キロ。高架と掘削が中心の工事はかなり進んでおり、早期開通を目指しています。

開通後の三郷JCT～高谷JCT間の所要時間はおよそ15分。現在の首都高速経由に比べて、半分程度（渋滞がない場合ですが）に短縮されることになります。また、大泉JCT～中央道と交わる中央JCTを経て、東名高速と交わる東名JCTまでは16.2キロ。トンネルを中心とした工事がすすめられています。早期開通に期待したいところです。

また、三郷市の中心部から都心千代田区秋葉原へ直通のつくばエクスプレス。

こちらも東京延伸、臨海地下鉄と一体整備といった計画が、国土交通省の交通政策審議会「今後の首都圏の鉄道整備に関する答申」をまとめました。東京駅にダイレクトアクセスとなると、さらに注目されることになるでしょう。

高速道路や鉄道の交通網の充実、人口減少時代において大きなポイントになると感じます。（三郷地区：小島 一茂）



TX 三郷中央駅

10年間ありがとうございました。 前支部長 河井 孝夫



埼玉東支部の会員の皆様、10年間、支部長としてお世話になりました。皆様のお力添えのおかげで無事職務を全うすることができましたこと、心より感謝申し上げます。私が本協会に入会したのは昭和42年10月15日です。おかげさまで50年の月日が経ちました。入会した当時、草加支部は会員数が約45社ほどでした。後に三郷の会員が三郷支部を、八潮の会員が八潮支部を設立し、3支部体制へと発展いたしました。その後、時代の流れもあり、3支部になった支部活動を再度一つにまとめることになりました。当時の草加支部長であった内藤さんをはじめ、三郷の支部長、八潮の支部長、そして草加支部の永堀さん、大塚さんと多くの方が力を合わせて、埼玉東支部が平成14年に誕生、支部長には内藤さんが就任し、私は専務理事として2期4年お世話になりました。

その間、心臓を患い、バイパス手術を受けるというアクシデントもありましたが、何とか4年間専務理事を務めました。任期も終わろうかという時、理事会で内藤支部長から次期支部長のご指名を受け、他の理事さん達も皆賛同してくださり、あっという間に支部長を拝命することになったわけです。あれから早いもので、あっという間の5期10年でした。力足らずの私を支えてくれた歴代の副支部長・専務理事・常務理事・理事・事務局員の皆さま、そして、何より会員の皆さまのお力添えがあったおかげと感謝しています。心より御礼申し上げます。

私は若い頃から早く独立したいと考えていました。ガソリンスタンドが儲かりそうだと思えば、危険物第4類の免許を取ったり、ボウリングが流行りそうだと聞くと、ボウリング場建設に奔走したり、幼稚園不足だと聞くと幼稚園建設に奔走したりしました。しかし、金融機関は若い私の夢物語にはなかなか賛同してはくれませんでした。

私の父親は農業と運送業を営みながら、不動産ブローカーをしていました。当然のように無免許でした。その当時の宅建協会の支部役員だった方に、このままでは業法違反で処罰されるよと忠告され、それではマズイ、自分が資格を取り、業者登録をしなければならぬと考えました。それから50年経ったわけです。

50年の間にはいろいろなことがありました。第一次オイルショック・第二次オイルショックで青色吐息、平成2年には肺結核を患い、金融・不動産のバブル崩壊、会社の存続に関わる多くの困難がありました。こうして今も営業が続けられているのはお客様に恵まれ、支えられたおかげと思っています。

今後は今までお世話になったお客様・宅建協会に恩返しできるように、私的・公的に係らず世のため、人のため、全身全霊をかけて汗を流していく所存です。

結びに支部長在任中のご厚誼に御礼申し上げますとともに、後任の榎本支部長をはじめとする理事・役員の皆さまのご活躍と支部会員の皆様のご隆盛を祈願して、退任のご挨拶とさせていただきます。10年間ありがとうございました。

草加地区近況報告 副支部長 兼 草加地区地区長 木村忠義

早速ですが、草加市内青柳及び柿木町地域にて暴力排除活動を行う団体「暴力追放川柳ブロック市民会議」が暴力団の事務所使用差し止めを求め活動していました。地域の方々や行政、警察、各種団体等の協力により本年、事務所使用禁止となりました。我々の業務上、申し込みを頂き審査して契約をいたしますが、先方は最初から騙して契約をしようと画策している方もいます。もし騙された場合、我々にも参考となる事案だと思えます。また、裁判費用などの助成金等も草加市暴力排除推進協議会などから交付されておりますのでしもの場合参考にして頂ければと思います。そして、草加市は（仮称）草加市家屋及び土地の適正管理に関する条例に対して、（仮称）家屋土地適正管理審議会を学識経験者、警察、消防組合、保健所、医師会、宅建協会、市職員等で組織して行く方向です。我々も本条例に関する事項に意見を受ける審議会に率先して協力をして安心安全なまちづくりの一助に成る活動をしていかなければならないと思えます。草加市も（仮称）草加市安全安心まちづくり推進条例についても取り組んでおります。①. 安全安心まちづくりの基本理念を定める ②. 公共の場所における迷惑行為の適正化 ③. 推進計画の策定等を目的としております。施策としては、公共の場所における禁止行為（客引き行為、迷惑ビラ等の配布）迷惑行為等適正化重点地区の指定、自主防犯団体への支援、協議会の設置等です。市民、事業者、学識経験者、関係団体の役職者、関係行政機関の職員等で組織しようと考えておりますので我々もその協議会に所属できるように活動してまいります。また、そうかりノベーションまちづくり推進についても活動が盛んになってきております。こちらに関しては我々業者にとって非常に重要な取り組みと思えますので今回の近況報告だけでは伝えきれませんので地区会の（仮称）政策報告等を行い会員の為になる活動を考えておりますのでその際はご参加のほどよろしくお願いいたします。会員各位の業務の発展をご祈念申し上げ草加地区の近況報告とさせていただきます。

三郷地区近況報告 副支部長 兼 三郷地区地区長 鈴木邦男



今年4月より副支部長を務めています鈴木邦男と申します。私は三郷地区長も兼ねていることから先般7月に地区役員の懇親会を開催し、役員の一層の親睦をはかりました。これからの支部や地区の運営に若い人達との交流は大変有益でありました。また全国的に人口減と叫ばれている時代に三郷市では年々人口が増加しています。7月1日現在で138246人となっております。皆様から住んでみたい市に選ばれるよう、行政と協力して街づくりの一翼を担えたらと考えております。

宅建コラム ～綾瀬川は地元の河川か？～

草加環境推進協議会出向 木村 高明

草加市の中央を流れる一級河川、綾瀬川を地元の川だと認識されている方はいるのでしょうか？

綾瀬川に関する浮遊ゴミや水質について、質問を受け付けたり、管理者との仲介役をする窓口は、草加市にはありません。草加市からは、「直接、管理者の国に訴え出て下さい」と言われ、仲介してもらえない。

「地元行政が汚れを傍観し、人任せにしている河川」「日本一汚い河川＝綾瀬川」と云われる理由の一端をみつけた思いである。かつて水運華やかかなりし時、綾瀬川は物流輸送に大活躍をしました。

車社会になって、主役が道路に移り、人々の関心が河川から離れ、次第に荒廃していきました。浮遊ゴミや水質の悪化原因は、遠い処にあるのではなく、地元及びその周辺、近い処にあるのかもしれませんが。綾瀬川そのものの環境改善を、国まかせではなく、より身近な地元民がどこかで関与すべきではないでしょうか。

松原遊歩道の最南端、綾瀬川沿いに松尾芭蕉の銅像が建立されています。

当時、芭蕉という名の植物は、社会に何の効用も、もたらしていないものとして認識されていました。

「ただ人間として生きていけば、そのうち何かの役にたつことがあるかも知れない。」そんな思いで芭蕉は自分の俳号としました。

綾瀬川は今、「ただ川として流れていけば、そのうち何かの役にたつかも知れない」として、芭蕉像を抱えているのかもしれませんが・・・



カヌーによるゴミ回収



『新規入会』『退会』『組織・代表者・住所・名称変更』等

新規入会

(株)コウキ	代表取締役 金子一郎	草加市高砂2-10-18 WISENEXT草加駅前5F	TEL: 934-5495 FAX: 934-5499	草加2班
(株)Dカンパニー	代表取締役 三田正史	八潮市木曾根1502-1	TEL: 999-7588 FAX: 999-7558	八潮3班
(株)五 廣	代表取締役 大山廣柱	八潮市緑町1-12-8	TEL: 954-6874 FAX: 954-6854	八潮4班
(株)新日本エステート八潮駅前支店	代表取締役 鳥海豊彦	八潮市大瀬6-2-2	TEL: 948-6162 FAX: 948-6163	八潮6班

	変更前		→	変更後	
	代表者	住所		代表者	住所
代表者変更 支店名 住所変更	(株)新井材木店	代表取締役 新井 廣道		(株)あらい住建	代表取締役 新井 勝江
	大恵不動産(株)	代表取締役 坂井 尚壽		大恵不動産(株)	代表取締役 坂井 尚徳
	(株)皐暉創建	代表取締役 笹沼 トミ		(株)皐暉創建	代表取締役 笹沼 伸行
	(株)小川不動産	草加市中央1-1-12 TEL: 967-5290 FAX: 967-5291		(株)小川不動産	草加市中央2-1-4-301 TEL: 951-7965 FAX: 951-7966
	オガワホーム(株)	FAX: 926-2627		オガワホームHD(株)	FAX: 928-8711
	(株)オーケーハウジング	八潮市上馬場605-2		(株)オーケーハウジング	八潮市中央2-20-19
	(株)キュープランニング	三郷市高洲3-164-101 FAX: 951-2309		(株)キュープランニング	三郷市泉2-14-3-8号 FAX: 951-2369

退会会員 柏木不動産、アポロ住宅、(有)丸一不動産、浜島建設(株)、マルゼン工営(株)、(有)栄不動産

支部移動 (株)エス・コーポレーション 南彩支部へ

組織変更 (株)YELL 埼玉県知事免許 (1) 22476 → 国土交通大臣免許 (1) 9032

編集後記

今号より編集長を担当しています吉田良一です。創刊号から第15号まで、約8年担当されてきた宗像さん、約6年担当されてきた村上さん、お二人が専務理事、副専務理事になられた関係でお鉢が私に回ってきました。もし、読み辛い点がございましたら不慣れということでお許しください。今号では「こんな街に住みたい」というテーマでお隣の街「流山市」を取り上げました。今、流山市は全国的に注目されている街です。是非一度、ご自分の目で確かめるのも良いかもしれません。次号では、やはりお隣の街、北千住(足立区)を特集します。やはり今注目の街です。しっかり取材して皆様に秘密をお伝えしようと思っています。お楽しみに・・・

支部案内

公益社団法人 埼玉県宅建物取引業協会 埼玉東支部
〒340-0003 埼玉県草加市稲荷 3-18-2
TEL: 048-932-6767 FAX: 048-932-6360



埼玉東支部ホームページ
<http://www.takuken.or.jp/higashi>
青年部・レディス部ホームページ
<http://saitamahigashi.com>
お問合せアドレス
saitamahigashi@takuken.or.jp